

令和3年度 学校評価

担当部	重点目標	具体的方策	留意事項	年度末評価	達成度
本年度の 重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けて主体的に学習に取り組み、実践的な力を身に付けることを目指した指導・支援の充実を図る。 ・危機管理体制の充実を図るとともに、現状に即した防災・安全教育を推進する。 ・教室及び職員室の環境整備に努め、より効果的な授業、より効率的な業務遂行ができるようにすることで、教育活動の充実を図る。 				
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒1人1台パソコンの有効活用に向けたICT環境の整備・管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく配備された物品を活用できるように付属品を配置したり、使用方法のマニュアルを作成したりする。 ・生徒1人1台パソコンを使用しやすいようにルール作りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物品の配置や使用については、不都合があれば変更しながら、より良い環境を整える。 ・国や県からの指針に沿って作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機器に保管場所を明記するなど、より分かりやすいように環境を整えた。 ・使用時や持ち運びについては、定期的な確認を行い、破損がないようにする。 	90%
	<ul style="list-style-type: none"> ・刃物等危険物の管理マニュアルの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・刃物の場所、種類、数量を一覧表にまとめ、分かりやすく取り扱い方法を決め、管理場所に掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを運用しながら、不都合があれば順次改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で所有している刃物の保管場所と数量についてまとめることができた。授業で使用する刃物についても運用しやすいようにケースを分けた。今後は、刃物に限らず危険物についても記載を行っていく。また、管理状況の定期的な点検方法を確立していく。 	80%
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組む意欲の向上を図る指導・支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会や校内研究において生徒一人一台パソコンやICT機器を活用した指導・支援方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した取組の実践例を集約し、職員間で共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究や現職研修で、授業で活用できそうな機能やアプリの紹介を行い、指導・支援を充実させることができた。校内研究では、各教科での活用事例を紹介し、職員間で共有することができた。 	90%
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一台パソコンを活用した指導・支援の方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用について現職研修を実施し、職員の理解を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部から積極的に情報を収集し、職員間で共通理解を図る。 		
生徒 指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策をした上での桃陵高校との合同訓練(避難、不審者対応)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・有事の際の対応について桃陵高校とすりあわせを進め、合同での対応訓練の実現に向け調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を留意し、可能な限り生徒も参加して実際の動きを確かめる。 ・生徒の参加が難しい場合でも、体制整備の確認の重要性を捉え、職員の動きの確認ができる機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況が大きく変化し、集合形態での訓練を新たに計画することがなかなか難しかった。桃陵・桃花合同の防災訓練については分散での実施となったが、策定した計画を見直し次年度に生かしたい。不審者対応については、マニュアルの見直しを今後も進め、両校でそろって運用できるようにする。 	60%
	<ul style="list-style-type: none"> ・被災状況を想定した生徒の安否情報や職員の安否・参集情報の収集訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害伝言ダイヤルやメール配信を利用した安否情報伝達方法を構築し、実際に訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災時の状況を考慮し、インフラ状況などを想定して訓練を設定する。 ・メール配信利用可能な職員の範囲を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用伝言ダイヤルの利用体験を今年度も7回計画し、実施している。今年度は録音や再生の内容にバリエーションを加えたり、学校で録音の実際を担任と確認しながら実施したりと工夫を凝らした体験を行い、正しく利用できる生徒が増えてきた。今後は、保護者の確認をさらに促すなど、家庭と連携し実用性を高めたい。 	80%
	<ul style="list-style-type: none"> ・ケータイ、スマホの利用に関する指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の携帯電話指導計画や指導資料を活用し、充実した指導を目指す。必要に応じて見直しを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの問題など、最近の事象に合わせた指導ができるように内容を考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に外部講師による指導として「ネットモラル塾」を実施した。SNSの問題など最近の事象について、知ることができた。 ・生徒の端末を、また生徒に割り当てられるタブレット端末をBYOD、CYOD的な活用ができるよう模索したい。 	90%
進路 指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が求める力について、職員の理解を高めるとともに生徒・保護者との共通理解を進めながら、指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けた個の課題を的確に把握し、課題の克服に向けて学校生活を通じた支援をすることで働くことへの意欲・関心を高め、目標をもって学校生活に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個の課題及び支援方法を共有し、職業、自立活動や工業等の時間を中心に全職員で支援する。 ・企業が求める人材を現職教育や部会の機会をとおして全職員に伝える。 ・進路だよりを活用し、事業所が求める力について家庭とも情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の様子や実習を通して感じる課題について部会等を通して職員に伝えるとともに、保護者や生徒にも進路だより(全6回)によりコロナ禍における現状も併せて発信をした。また、進路選択を控える2年生に対し実習を終えた3年生が仕事の内容や環境、感じた課題等について伝える機会を設け、進路について考える機会とした。課題や問題点を職員、保護者、生徒で共有し、学校生活の中で克服に向けて取り組むとともに、家庭の理解や協力を得てより良い進路指導、進路決定につなげることができた。 	90%